

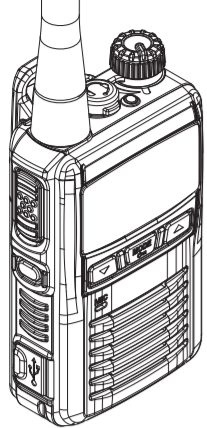
携帯型デジタルトランシーバー VXD1S 取扱説明書

82+15 チャンネル / 1W

陸上波 82チャンネル 上空波 15チャンネル 無線局種別コード：3R/3T/3S/3U（登録局）

防水構造

前塵防浸構造 IP67 完全防水ではありませんので、水中での使用はできません



ご購入いただき、ありがとうございます。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

開発製造：株式会社CSR

URL：http://standard-radio.jp



© 2024 株式会社CSR 社無断転載・複写を禁ず Printed in Malaysia

構成

Table listing components and their quantities: 本体 (VXD1S) x1, ベルトクリップ (CLP-25) x1, リチウムイオン電池パック (BT7X) x1, etc.

デジタル簡易無線登録局について

本機は全国の陸上及び日本周辺海域で使用できる82チャンネル（本文中「陸上波」と表記）と、陸上と周辺海域に加え高所やスカイスポーツ等の上空でも使用することができる15チャンネル（本文中「上空波」と表記）両方に対応しています。

Table showing usage range, ARIB code, frequency, and channel count for various regions.

上空波チャンネルの運用について

上空で利用する場合には、S-01～S-15の通話チャンネルを使用してください。上空でCH1～CH82の通話チャンネルを使用すると電波法違反になります。

コールチャンネルについて（陸上波専用）

“CH15.CALL”は、呼び出し専用のチャンネルです。ユーザーコード（UC）は自動的に“000”に設定され、秘話通信は自動的に解除されます。

コールチャンネルは一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。

通信時に動作する機能に関して

キャリアセンス機能

基準値以上の強さの電波を受信している場合は、混信を防止するために、送信を禁止する機能です。

“WAIT”表示の状態ですPTT（通話）スイッチを押し続けると、受信電波がなくなり次第、“WAIT”表示がチャンネル表示に切り替わり自動的に送信状態になります。

本機は、デジタル簡易トランシーバー登録局としてキャリアセンス機能を搭載しており、電波法およびARIB規格により、送信ごとにキャリアセンス機能が動作します。

通話中の「ビビビ」音

本機の連続送信時間は“5分”で、約4分50秒で予告音「ビビビ」が鳴ります。送信中に「ビビビ」という電子音が鳴った場合、速やかに通話を終了してください。

キー操作早見表

Table of key operations: Power switch, Mode, Arrow keys, PTT, Programmable keys, etc.

登録申請 / アフターサービスについて

本機をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受けることが必要です。

登録状の交付を受けずに本機を運用し、電波を出した場合、電波法第9章110条に定められた罰則（一年以下の懲役又は百万円以下の罰金）が適用されますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください。

ご利用にあたって

- 適合証明を取得し、他社のデジタル簡易トランシーバー（種別コード「3R, 3T, 3S及び3U」）との互換性を確保していますが、デジタル簡易無線規格において製造者定義となっている一部機能については（例：個別呼び出しなど）、互換性ありません。

免責事項

- 取扱説明書に記載の使用法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害については、当社は一切責任を負いません。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお問い合わせいただきました販売店にご相談ください。

登録商標について

本製品は、公式ライセンスである株式会社CSRにより製造、配布または販売されています。Vertex Standard, Standard, およびデザイン化されたVSOゴとSRDゴは、Vertex Standard Trademark Holdings, LLCの商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。

準備

電池パックを入れる / 取り出す

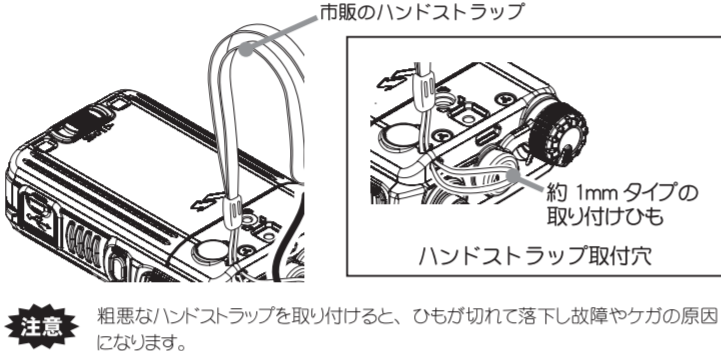
- ロックレバーを右側にスライドし、フタを開きます。
2. 電池パックの黒い面を上にして電極側から差し込みます。
3. フタのツマギがある部分から差し込みます。
4. ロックレバーを赤印が見えなくなるまで左側にスライドし、フタを確実にロックします。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップ上面の凸部分とトランシーバー上面の凹部分に合わせ、ベルトクリップに装着されているビスで確実に取り付けます。

ハンドストラップの取り付け

先端の取り付けも約1mmタイプの丈夫なストラップを取り付けてください。



電池パックについて

電池パック（BT7X）は、使い切らずに繰り返し充電可能なリチウムイオン電池パックです。運用する時は満充電にしながらご使用ください。

電池パックの使用条件

- 周囲温度が-10℃～+60℃の範囲内で使用してください。低温になるほど電圧が低下し、使用時間が短くなります。

電池パックの保存方法

- 周囲温度が20℃～+35℃の、腐食性ガスのない湿度の低い乾燥した場所で保存してください。
高温の場所で保存すると、劣化の進行を早めることがあります。なるべく低温状態で保管してください。
長期間放置 / 保管するときは、次のことを守ってください。

電池パックの特性について

- 過充電 / 過放電などの無理な条件が重なると寿命が短くなります。
電池パックは消耗品です。充電電圧を繰り返し使用できる時間が徐々に短くなります。
満充電にしても持続時間が短くなってきたときは電池パックの寿命ですので、早めに新しい電池パックをお買い求めください。

電池パックのお手入れ

- 側面の端子を定期的清掃等で拭いてください。
電池パックが汚れた場合には、シンナーやベンジンなどを使わず、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

使用済みの取り扱い

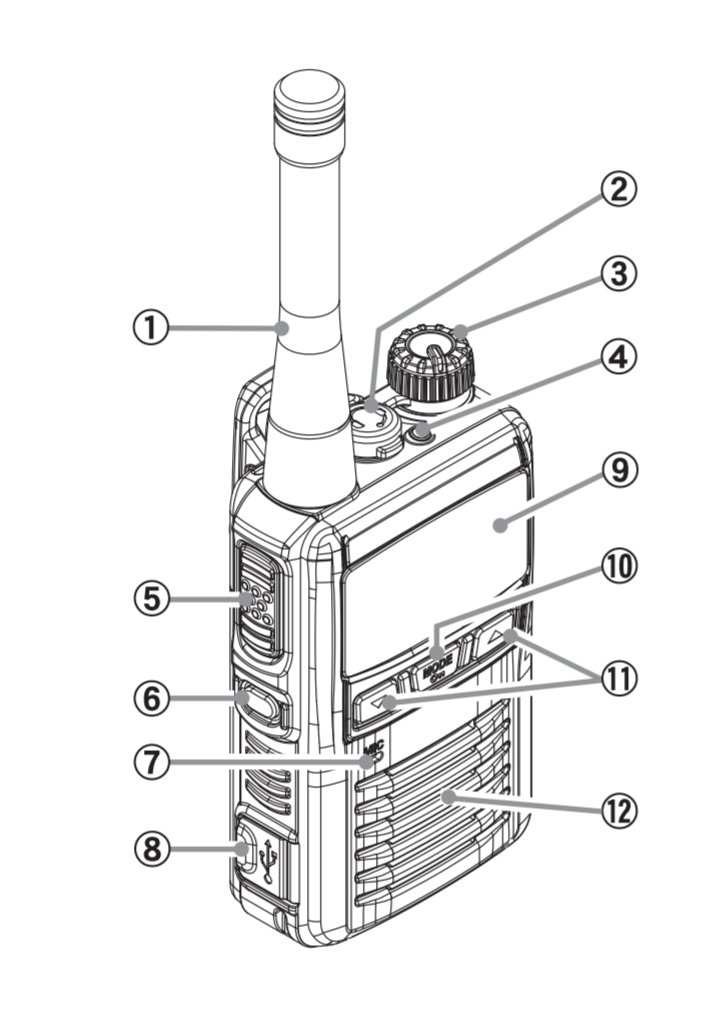
- 電極端子をゼロハンテープやビニールテープ等で絶縁してください。
電池パックを分解しないでください。
電池パックはリサイクルができますので、廃棄せずに、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力業者にご相談ください。

電池パックの持続時間を延ばすには

VXD1Sは小型軽量ながら一回の満充電で約10時間の運用を行うことができます。またVXD1Sは、持続時間をさらに延ばすことができるスーパーセーブ機能（設定モード：F10.SSAVE参照）の搭載により、持続時間を約3時間延長することができます。

Table showing battery life for BT7X: Super Save mode OFF (approx 10h), Super Save mode ON (approx 13h).

各部の名前と機能



- 1 アンテナ: 上空波送信対応のため、法令により外せません。
2 MIC / SP端子: MIC/SP端子キャップを外して、スピーカーマイクなどのオプションを接続します。
3 電源スイッチ / 音量調節ツマミ: 電源のON/OFFと音量の調節をします。
4 LEDインジケータ: 動作状態を視覚的にわかりやすく確認できる三色色のLEDで動作状態を表示します。

- 5 PTT（通話）スイッチ: 押し続けると通話、トランシーバーは送信状態になります。
6 PT (通話) スイッチ: 押し続けると、通話モードに切り替わり、音声機能が動作します。

- 7 プログラムレキー: 短押しすると“スキャン機能”が動作します。再度押すと、スキャン機能が停止します。
8 マイク: この位置にマイクが内蔵されています。
9 USB端子: 付属のACアダプターを接続して充電します。
10 ディスプレイ: 各種状態や情報を表示します。キー操作すると約2秒間照明が点灯します。

Table showing display indicators: Signal strength (T), Secret code (L), Scan (S), Individual call (V), Key lock (On), Voice call (一斉), Group call (グ), Individual call (個), Auto power off (O), LED indicator (四).

Table of display indicators: Signal strength, Secret code, L (Low power), S (Scan), V (Individual call), On (Key lock), Voice call, Group call, Individual call, Auto power off, LED indicator.

- 10 MODEキー / On (キロック) キー: 短押しすると、チャンネル設定、UC設定、秘話機能、（個別通話：呼び出し設定）を選択することができます。
長押しすると、すべて各種キーに解除しても設定が変わらないようにロックすることができます。
MODEキーを押しながら電源スイッチをまわすことで設定モード画面になります。

- 11 ▲ / ▼キー: 短押しすると、チャンネルを選択することができます。
長押ししている間、自動でチャンネルがアップまたはダウンします。
12 スピーカー: ここから相手の音声や操作音が聞こえます。

電池パックの充電方法

充電の仕方は、3種類の方法があります。下表は電池パックを十分に使い切った状態での充電時間になります。

Table of charging methods: 1. Transceiver (approx 160min), 2. USB (approx 180min).

※：別紙の「安全上ご注意 / 電池パックの充電方法（補足文）：オプションの急速充電器CD-66で充電する」を参照してください。

補足 電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

お使いになるときのご注意

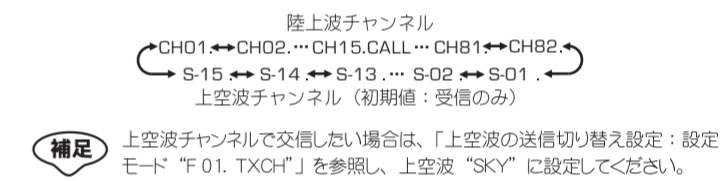
- 充電をするときは、トランシーバーの電源を切ってください。
電源を入れたままの状態でも充電をすと、スピーカからACアダプター等のノイズが聞こえることがあります。
規定の充電時間よりも長く掛かる場合があります。
当社の充電器以外（市販のUSBケーブル等）のものでも使用できますが、それが原因の不具合等については保証対象外になります。
規定の充電時間以上経っても充電できない場合は、すぐに充電を終了してください。
充電中に充電器やトランシーバー、ACアダプターが発熱する場合がありますが故障ではありません。
充電中にテレビやラジオにノイズが入ることがあります。できるだけ離してください。

トランシーバーにACアダプターを接続して充電する（充電時間: 約160分）

- トランシーバーの電源をオフにし、側面にあるUSB端子のキャップを開けて、付属のACアダプターのコネクタを差し込みます。
2 ACアダプターの電源プラグを容易にアクセスできるACコンセントに差し込みます。
3 充電が完了したらトランシーバーからACアダプターを外して、USB端子のキャップを閉めます。

通話のしかた

- 電源を入れます。
2 音量を調節します。
3 [▲]または[▼]キーを短押しして、チャンネルを合わせます。
4 送信（通話）スイッチを押しながら、マイクに向かって話します。

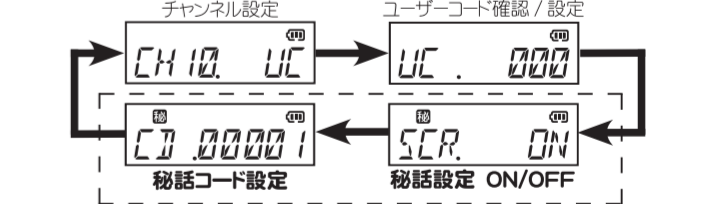


- 5 相手の音声を受信します。
6 電源を切ります。

- 7 秘話通信機能

秘話通信機能

盗聴されるのを防止する機能です。秘話機能を利用する際は、秘話コードの設定が必要です。初期値は、秘話コードが“00001”に設定されていますが、ご使用の際に通話セキュリティを十分に確保するためには、下記の方法で再設定をお勧めします。



- [MODE]キーを2回短押しして、“SCR.OFF”を表示させます。
2 [▲]または[▼]キーを短押しすると、“SCR.OFF”が点滅します。
3 [▲]または[▼]キーを短押しして“SCR.ON”にあわせます。
4 点滅中に[MODE]キーを短押しするか、約5秒間放置すると、ディスプレイに“四”が点滅し、秘話機能が設定されます。
5 [MODE]キーを押して、“CD.00001”を表示させます。
6 [▲]または[▼]キーを短押しすると、“CD.00001”の5桁目が点滅します。
7 [▲]または[▼]キーを短押しして、00001～32767から希望のコードに設定します。
8 点滅中に[MODE]キーを短押しするか、約5秒間放置すると秘話コードが確定しチャンネル表示に戻ります。

キーロック機能

- MODE / On キーを長押しします。
キーロック機能は“前面”の[▲] [▼] [MODE]、及びプログラムレキーのスイッチに有効です。
キーロック機能は“後部”の[一斉]キー、ツマミは下記を参照してください。

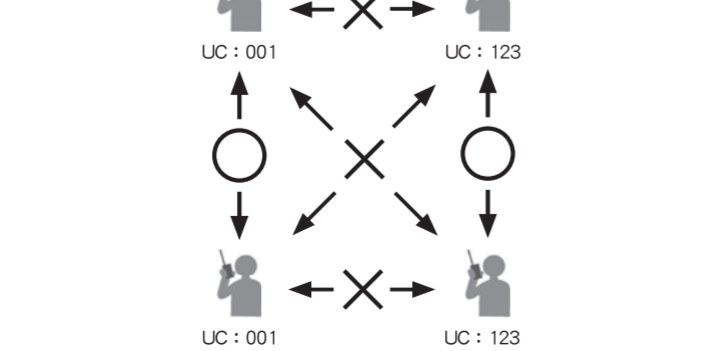
ロックを解除するには ロックが動作中に[MODE/ On]キーを長押しします。ロックが解除され、ディスプレイの“On”表示が消えます。

UC (ユーザーコード) 通信機能

UC (ユーザーコード) 通信とは

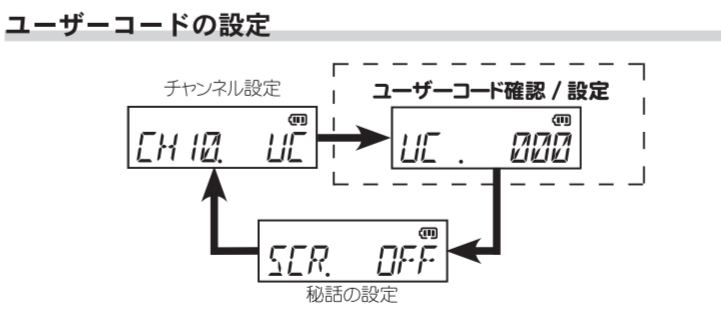
同じチャンネルで、同じユーザーコードを設定しているユーザー同士が通話できる方式（UC通信方式）です。

ユーザーコードは初期値の状態でも共通ユーザーコード“000”に設定されています。この状態でも他局ユーザーコードを変更していてもすべて受信できます。ユーザーコードを“000”以外に変更することで、ユーザーコードが一致した局のみと交信することができます。



- ユーザーコードは、3桁の数字で構成されていて、“000”～“511”の間で決めることができます。
ユーザーコード“000”は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる番号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手しか通話することができます。
UC通信方式は、ARIB規格で規定されており、種別コード3R, 3T, 3S及び3Uの他社製デジタル簡易無線トランシーバーと通話互換性がありません。

ユーザーコードの設定



- [MODE]キーを2回短押しして、“UC.xxx”を表示させます。
2 [▲]または[▼]キーを短押しします。
3 ユーザーコードが点滅中に[▲]または[▼]キーを短押しして、希望のユーザーコードに設定します。
4 点滅中に[MODE]キーを短押しするか、約5秒間放置するとユーザーコードが確定しチャンネル表示に戻ります。

設定したユーザーコードは全てのチャンネルで共通になります。

設定モードで行う機能

設定モード一覧表 / 操作方法

項目	表示	初期値	設定値	機能
C01 通信方式	C01.CLMOD	UC	UC/PR	通信方式の選択
C02 自局ID	C02.MY-ID	001	001 ~ 200	自局IDの設定
C03 グループID	C03.MYGD	01	01 ~ 30	グループIDの設定
F01 送信チャンネル	F01.TXCH	LAND	LAND/SKY	陸上波 / 上空波の選択
F02 ビープレベル	F02.BEEP	08	00 ~ 15	操作音(ビープ音)の音量設定
F03 外部マイク感度	F03.EXMIC	LV 0	-18/-12/-6/-3/0/+3/+6/+10	外部マイクの感度設定
F04 内部マイク感度	F04.INMIC	LV 0	-18/-12/-6/-3/0/+3/+6/+10	本体内部マイクの感度設定
F05 送信出力	F05.TXPWR	HIGH	OFF/LOW/MID/HIGH	送信出力の設定
F06 緊急アラーム機能	F06.EMERG	OFF	EMRTX/EBEEP/OFF/BP+T/S/LNT	緊急アラーム機能の動作設定
F07 自動電源オフ	F07.AT-PO	OFF	OFF/ON	電源切れ忘れ防止機能の設定
F08 PTT ホールド	F08.PTHLD	OFF	OFF/ON	PTT ホールド動作の設定
F09 外部スピーカー設定	F09.E-SPK	STD	STD/OPT	スピーカーマイクの特性補正
F10 スーパーセーブ	F10.SSAVE	OFF	OFF/ON	電池/バックの持ち時間をセーブ
F11 プログラマブルキー	F11.P-KEY	SCAN	SCAN/LIGHT/MUTE	プログラマブルキーの設定
F12 スキャンチャンネル	F12.SCANM	CH15	CH01 ~ S-15	スキャンチャンネルの設定
F13 スキャン受信設定	F13.SC-RX	ON	ON/OFF	スキャン機能の着信後のスキャン再開設定
S01 シリアル番号確認	S01.S/N	--	--	販売店および営業所サービス確認用
S02 CSM コード確認	S02.CSM	--	--	販売店および営業所サービス確認用
F99 設定リセット	F99.RESET	OFF	OFF/ON	各種設定を初期値(ご購入時の状態)に戻します

- 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入ると、「VXD1S」→「SET.MODE」が表示されます。その後、設定モードの「C01.CLMOD」が表示され[MODE]キーを放します。
- [MODE]キーを短押しして、項目を選択します。
例：F02.BEEPを選択した場合
補足 [MODE]キーを長押しするごとに設定モードの項目を後退します(F01.TXCH→C03.MYGD)。
戻し(確認) [MODE]キーを長押しすると設定モードの項目を後退します(F01.TXCH→C03.MYGD)。戻し(確認) [MODE]キーを短押しするごとに桁移動ができます。
- [▲]または[▼]キーを押して、設定値を選択します。
補足 [MODE]キーを長押しすることで、選択をキャンセルすることができます。
○「C02.MY-ID」を設定する場合は、[プログラマブル]キーを短押しするごとに桁移動ができます。
- [MODE]キーを短押しして確定します。必要に応じて、同様に他の項目を設定します。その後電源を切り設定は終了します。



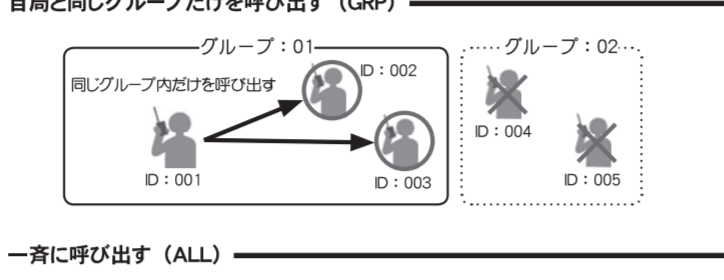
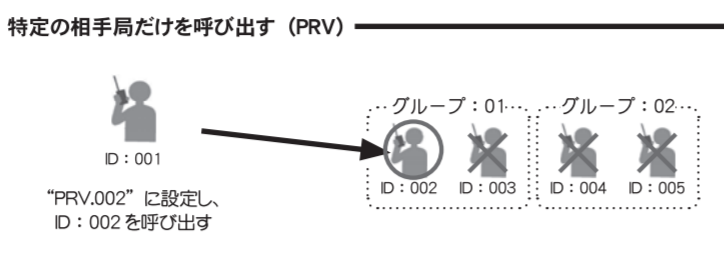
個別通信を行う (C01.CLMOD ~ C03.MYGD)

個別通信とは

特定の相手局だけが呼び出したり、自局と同じグループの呼び出しやグループに関係なく一斉に呼び出して通話することがあります。

個別通信を行う前の準備：

- 設定モード「C01.CLMOD」を「PR」(個別通信)に設定します。
- 設定モード「C02.MY-ID」で「001 ~ 200」から、各トランシーバーに割り当てるIDを設定します。
- 設定モード「C03.MYGD」で「01 ~ 30」から、自局グループのIDを設定します。
- 全員が同じチャンネルに設定します。
- 全員が同じユーザーコードに設定します。
- 秘話機能を使用する場合は、全員が同じ秘話コードに設定します。



内部マイク感度の設定 (F04.INMIC)

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの感度を設定します。

(低) -18 ← -12 ← -6 ← -3 ← 0 (初期値) → +3 → +6 → +10 (高)
- 感度が下がります / + 感度が上がります。

送信出力の設定 (F05.TXPWR)

送信出力(放射する電波の強さ)を「HIGH」(1W)、「MID」(0.5W)、「LOW」(0.2W)から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を「MID」または「LOW」に設定してください。

OFF	PTT(通話)スイッチを押しても、送信しません(受信専用)
LOW	送信出力が0.2Wに設定されます。
MID	送信出力が0.5Wに設定されます。
HIGH(初期値)	送信出力が1Wに設定されます。

緊急アラーム機能の設定と使用方法 (F06.EMERG)

設定モードによる準備
[プログラマブル]キーを長押しすることで、緊急事態をアラーム音とLEDインジケータの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して他の仲間に緊急を知らせることができる機能を設定します。

EMRTX	自局のIDを含んだ緊急信号を送信します。また、緊急動作中にPTT(通話)スイッチを押すと、相手局と通話することがあります。 補足: この設定は、PR(個別)通信方式時のみ動作します。UC通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。
EBEEP	トランシーバーのスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。
OFF(初期値)	緊急アラーム機能は動作しません。 補足: [プログラマブル]キーの長押し操作がスキャンチャンネルの登録機能として動作します。
BP+T	「EMRTX」の動作を行った後、「EBEEP」の動作を行います。 補足: この設定は、PR(個別)通信方式時に使用しますが、UC通信方式時に使用した場合は「EBEEP」の動作のみを行います。
S/LNT	サインオフ状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDインジケータは緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中にPTT(通話)スイッチを押すと、相手局と通話することができます。 補足: この設定は、PR(個別)通信方式時のみ動作します。UC通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。

緊急アラーム機能を使用する

[プログラマブル]キーを長押しします。

緊急アラーム機能を使用する

緊急信号を受信したとき:
PR(個別)通信方式で緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局のIDを表示し、LEDインジケータが白色で点滅し緊急受信モードになります。さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

補足

- 電子音は、いずれのキーを押すと止まります。
- [プログラマブル]キーを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴りLEDインジケータが点滅します。

緊急信号を受信したときに、PTT(通話)スイッチを押して送信すると、自動的に「一斉呼び出し」(同じチャンネルに合わせた、全ての局を呼び出す)に切り替わります。

緊急アラームの動作を停止する:
電源スイッチを左に押し切り、電源を切ります。

呼び出しを行う

個別通信のしかた:

待ち受けの状態や呼び出し方法を呼び出す。
[MODE]キーを何度か短押しして、呼び出し方法を選びます。
[MODE]キーを短押ししてから5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。

- #### 手順A) 特定の相手だけを呼び出す (PRV)
- 呼び出したい相手局の個別番号 (PRV ID) を設定して呼び出します。
- [MODE]キーを1回短押しすることで、個別設定の画面が表示されます。
 - [▲]または[▼]キーを短押しすると「PRV」と「個」のアイコンが点灯し、個別番号の桁目点滅します。
 - 個別番号が点滅中に[▲]または[▼]キーを短押しして設定します。
[プログラマブル]キーを押すごとに桁が移動します。
 - 点滅中に[MODE]キーを短押しすると、約5秒間放置すると個別番号が確定します。または、点滅中にPTT(通話)スイッチを押すと「個」のアイコンが点灯して確定し、特定の相手局を呼び出します。
- 手順B) 自局と同じグループだけを呼び出す (GRP)**
同じグループ内に属する全員を呼び出します。
- [MODE]キーを2回短押しすることで、グループ設定の画面が表示されます。
 - [▲]または[▼]キーを短押しする。約5秒間放置すると「G」のアイコンが点灯して確定し、「G」のアイコンが点灯して確定し、グループを呼び出します。
- 手順C) 一斉に呼び出す (ALL)**
グループに関係なく一斉に呼び出します。
- [MODE]キーを3回短押しすることで、一斉呼び出しの画面が表示されます。
 - [▲]または[▼]キーを短押しする。約5秒間放置すると「一」のアイコンが点灯して確定し、PTT(通話)スイッチを押すと「一」のアイコンが点灯して確定し、一斉に呼び出します。

自動電源オフの設定 (F07.AT-PO)

「ON」に設定するとディスプレイ「O」が点灯し、2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を切り電池の消耗を防ぎます。1分前に警告音が鳴り、電源が切れます。

OFF(初期値)	自動電源オフの設定をOFFにします。
ON	自動電源オフの設定をONにします。

PTT ホールド機能の設定 (F08.PTHLD)

初期値「OFF」はPTT(通話)スイッチを押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。「ON」に設定するとPTT(通話)スイッチを一度押すと送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付きPTT(通話)スイッチに変更することができます。

OFF(初期値)	PTT ホールド機能をOFFにします。
ON	PTT ホールド機能をONにします。

補足 連続送信時間は5分以内で電波法で定められています。本機では送信を開始してから約4分30秒後に「ヒッヒ」と警告音が鳴ります。5分経過後は自動で送信が止まり、待ち受けの状態に戻ります。その後1分間は送信禁止状態になります。警告音が鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

注意 PTT ホールドは、トランシーバー本体のPTT(通話)スイッチのみ有効となります。(外部マイク等のオプション使用時には設定を必ずOFFにしてください。)

スーパーセーブ機能の設定 (F10.SSAVE)

「ON」に設定すると、待ち受け状態で約2秒間キー操作がないと電池バックの消耗を防ぐセーブ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとセーブ機能は解除されます。

OFF(初期値)	スーパーセーブ機能をOFFにします。
ON	スーパーセーブ機能をONにします。

補足 ○スーパーセーブ機能を「ON」に設定すると、PTT(通話)スイッチを押して送信を始めた際に電子音が鳴ります(送信ビープ)ので、鳴った後話をしてみてください。スーパーセーブ機能を「OFF」に設定すると、送信ビープも「OFF」になります。

○スーパーセーブ機能を「ON」に設定すると、受信中頭切れを起こすことがあります。頭切れを防止するために、相手局についてもスーパーセーブ機能を「ON」に設定することをお勧めします。

プログラマブルキーの設定と使用方法 (F11.P-KEY)

[プログラマブル]キーの設定と使用方法
「SCAN」(初期値) スキャン機能設定参照、「LIGHT」、「MUTE」の3種類から機能キーとして1つ選択することができます。

SCAN(初期値)	スクランキーに設定します。
LIGHT	ディスプレイ照明キーに設定します。
MUTE	ワンタッチミュートキーに設定します。

ディスプレイ照明機能を使用する

あらかじめ「LIGHT」を選択すると、ディスプレイの照明キーとして動作します。
[プログラマブル]キーを短押しします。
ディスプレイの照明が5秒間点灯します。

注意 ○5秒以内に照明を消灯したい場合:
再度、[プログラマブル]キーを短押しします。

ワンタッチミュート機能を使用する

あらかじめ「MUTE」を選択すると、音響調節ツマミを回さずにワンタッチで音量をオフにすることができます。

[プログラマブル]キーを短押しします。
ミュート中はディスプレイに「MUTE」が点灯し、音量をオフにします。

注意 ○ワンタッチミュートを解除する:
再度、[プログラマブル]キーを短押しします。
または他のキーや音響調節ツマミを回すことにより解除することができます。
ミュート中、3分経過後も自動的に解除します。

注意 緊急アラーム時にワンタッチミュートは動作しません。

呼び出しを受けたとき

個別通信で呼び出しを受けると、電子音(着信ベル)やLEDインジケータの点滅 (PRV: 不在着信機能が動作) により呼び出しがあったことを知らせます。

補足 個別通信によるLEDインジケータの表示は、「各部の名前と機能の④LEDインジケータ」を参照してください。

特定の相手から呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出しされた相手局のIDが表示され、スピーカーから電子音が一回鳴り、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、待ち受け時は点滅します。

個別呼び出しで呼ばれた場合:

呼び出した相手局のIDが点滅表示され、LEDインジケータが水色に点灯したままになります(不在着信機能)。

応答する場合:

PTT(通話)スイッチを押すと相手を選択します。

不在着信状態をキャンセルする場合:

任意のキーを短押しします。

補足 スキャン機能動作中「F13:SC-RX」が「ON」の場合は、不在着信機能は動作しません。

グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出しされたグループのIDが表示され、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、通話応答待ち受け時は点灯します。

約5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。

一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、一斉呼び出しを示す「ALL」が表示され、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、通話応答待ち受け時は点灯します。

約5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。

上空間波の送信切り替え設定 (F01.TXCH)

上空波を送信可能なチャンネルに設定します。

- 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入ると、「VXD1S」→「SET.MODE」が表示されます。その後、設定モードの「C01.CLMOD」が表示され[MODE]キーを放します。
- [MODE]キーを短押しして、項目を選択します。
例：F02.BEEPを選択した場合
補足 [MODE]キーを長押しするごとに設定モードの項目を後退します(F01.TXCH→C03.MYGD)。
- [▲]または[▼]キーを押して、設定値を選択します。
補足 [MODE]キーを長押しすることで、選択をキャンセルすることができます。
○「C02.MY-ID」を設定する場合は、[プログラマブル]キーを短押しするごとに桁移動ができます。
- [MODE]キーを短押しして確定します。必要に応じて、同様に他の項目を設定します。その後電源を切り設定は終了します。

送信出力の設定 (F05.TXPWR)

送信出力(放射する電波の強さ)を「HIGH」(1W)、「MID」(0.5W)、「LOW」(0.2W)から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を「MID」または「LOW」に設定してください。

OFF	PTT(通話)スイッチを押しても、送信しません(受信専用)
LOW	送信出力が0.2Wに設定されます。
MID	送信出力が0.5Wに設定されます。
HIGH(初期値)	送信出力が1Wに設定されます。

緊急アラーム機能の設定と使用方法 (F06.EMERG)

設定モードによる準備
[プログラマブル]キーを長押しすることで、緊急事態をアラーム音とLEDインジケータの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して他の仲間に緊急を知らせることができる機能を設定します。

EMRTX	自局のIDを含んだ緊急信号を送信します。また、緊急動作中にPTT(通話)スイッチを押すと、相手局と通話することがあります。 補足: この設定は、PR(個別)通信方式時のみ動作します。UC通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。
EBEEP	トランシーバーのスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。
OFF(初期値)	緊急アラーム機能は動作しません。 補足: [プログラマブル]キーの長押し操作がスキャンチャンネルの登録機能として動作します。
BP+T	「EMRTX」の動作を行った後、「EBEEP」の動作を行います。 補足: この設定は、PR(個別)通信方式時に使用しますが、UC通信方式時に使用した場合は「EBEEP」の動作のみを行います。
S/LNT	サインオフ状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDインジケータは緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中にPTT(通話)スイッチを押すと、相手局と通話することができます。 補足: この設定は、PR(個別)通信方式時のみ動作します。UC通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。

外部マイク感度の設定

外部マイクのマイク感度を設定することができます。

(低) -18 ← -12 ← -6 ← -3 ← 0 (初期値) → +3 → +6 → +10 (高)
- 感度が下がります / + 感度が上がります。

スピーカマイクの特性補正

オプションのスピーカーマイクのスピーカーオーディオ特性を最適な特性に補正するための機能です。スピーカーマイクを接続して使用するときは、「OPT」に設定してください。

STD(初期値)	補正は行いません。
OPT	最適な特性に補正します。

オプションのマイク取り付け

ねじ込み式の防水コネクタを使用しています。MIC/SP端子キャップを外し、マイクコネクタを押し込み右へまわらしてしっかりと締めて取り付けます。

注意

- オプション類は、トランシーバーの電源を切った状態で取り付けてください。
- 接続が不完全な場合、接続不良を起こし通話できないことがあります。

補足

- マイクコネクタの端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接続不良になって、正しく使用できなくなります。
- オプションを接続しないときは、MIC/SP端子キャップを雨水等が入らないように確実に取り付けてください。

防水性について

本機は、IEC国際規格 IP67 (防塵等級6)、防水等級7)の防塵、防水性能を有しています。この防水性を永らく確保していたるために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- 表面の電池フタを確実にロック(赤印が見えなくなるまで)し、MIC/SP端子とUSB端子のキャップも確実に取り付けられた状態でIP67を確保します。
- PTT(通話)スイッチやキーのラバー、MIC/SP端子のキャップ、USB端子のキャップ、防水シール、電池フタの「Y」部分などに、キズ、劣化、汚れ、剥がれがないか確認してください。
- 海水砂利などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、洗面器に真水を入れて洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- 本機の汚れを落とす際に、蛇口から水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエッジスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- 本機は、水中での使用はできません。
※1: 粉塵が内部に侵入しない。
※2: 加圧を加えない真水・静水に水深1mの位置で30分浸しても有害な影響を生じないこと。

故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか? 修理を依頼される前に、お確かめください。

- 電源が入らない!**
 - 電池バックが消費していませんか?
→ 電池バックを充電してください。
 - 電池バックの端子が接続不良になっていませんか?
→ 端子を乾いた布で拭いてください。
 - 電池バックが古くなっていませんか?
→ 電池バックの寿命です。
新しい電池バックをお取り替えください。
- 送信できない!**
 - PTT(通話)スイッチを正しく押ししていますか?
 - 送信出力の設定が「OFF」になっていませんか?
→ 設定モード「F05.TXPWR」で送信出力の設定を確認してください。
 - ディスプレイに「TX INH」が表示されませんか?
→ 設定モード「F01.TXCH」で送信チャンネルの設定を確認してください。
- 通話できない!**
 - 相手局と同じチャンネルに設定していますか?
 - 相手局との距離が離れていますか?
 - 相手局と同じ通信方式に設定していますか?
 - 設定モード「C01.CLMOD」で通信方式の設定を確認してください。
 - 相手局と同じユーザーコードに設定していますか?
 - 秘話通信機能が動作していませんか?
→ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

電波干渉について

近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の間で電波の干渉により、通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル(例:「CH01」と「CH02」)でのご使用を避け、離れたチャンネルを設定いただくことで、干渉を軽減することができます。

自動電源オフの設定 (F07.AT-PO)

「ON」に設定するとディスプレイ「O」が点灯し、2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を切り電池の消耗を防ぎます。1分前に警告音が鳴り、電源が切れます。

OFF(初期値)	自動電源オフの設定をOFFにします。
ON	自動電源オフの設定をONにします。

PTT ホールド機能の設定 (F08.PTHLD)

初期値「OFF」はPTT(通話)スイッチを押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。「ON」に設定するとPTT(通話)スイッチを一度押すと送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付きPTT(通話)スイッチに変更することができます。

OFF(初期値)	PTT ホールド機能をOFFにします。
ON	PTT ホールド機能をONにします。

補足 連続送信時間は5分以内で電波法で定められています。本機では送信を開始してから約4分30秒後に「ヒッヒ」と警告音が鳴ります。5分経過後は自動で送信が止まり、待ち受けの状態に戻ります。その後1分間は送信禁止状態になります。警告音が鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

注意 PTT ホールドは、トランシーバー本体のPTT(通話)スイッチのみ有効となります。(外部マイク等のオプション使用時には設定を必ずOFFにしてください。)

プログラマブルキーの設定と使用方法 (F11.P-KEY)

[プログラマブル]キーの設定と使用方法
「SCAN」(初期値) スキャン機能設定参照、「LIGHT」、「MUTE」の3種類から機能キーとして1つ選択することができます。

SCAN(初期値)	スクランキーに設定します。
LIGHT	ディスプレイ照明キーに設定します。
MUTE	ワンタッチミュートキーに設定します。

呼び出しを受けたとき

個別通信で呼び出しを受けると、電子音(着信ベル)やLEDインジケータの点滅 (PRV: 不在着信機能が動作) により呼び出しがあったことを知らせます。

補足 個別通信によるLEDインジケータの表示は、「各部の名前と機能の④LEDインジケータ」を参照してください。

特定の相手から呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出しされた相手局のIDが表示され、スピーカーから電子音が一回鳴り、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、待ち受け時は点滅します。

個別呼び出しで呼ばれた場合:

呼び出した相手局のIDが点滅表示され、LEDインジケータが水色に点灯したままになります(不在着信機能)。

応答する場合:

PTT(通話)スイッチを押すと相手を選択します。

不在着信状態をキャンセルする場合:

任意のキーを短押しします。

補足 スキャン機能動作中「F13:SC-RX」が「ON」の場合は、不在着信機能は動作しません。

スーパーセーブ機能の設定 (F10.SSAVE)

「ON」に設定すると、待ち受け状態で約2秒間キー操作がないと電池バックの消耗を防ぐセーブ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとセーブ機能は解除されます。

OFF(初期値)	スーパーセーブ機能をOFFにします。
ON	スーパーセーブ機能をONにします。

補足 ○スーパーセーブ機能を「ON」に設定すると、PTT(通話)スイッチを押して送信を始めた際に電子音が鳴ります(送信ビープ)ので、鳴った後話をしてみてください。スーパーセーブ機能を「OFF」に設定すると、送信ビープも「OFF」になります。

○スーパーセーブ機能を「ON」に設定すると、受信中頭切れを起こすことがあります。頭切れを防止するために、相手局についてもスーパーセーブ機能を「ON」に設定することをお勧めします。

プログラマブルキーの設定と使用方法 (F11.P-KEY)

[プログラマブル]キーの設定と使用方法
「SCAN」(初期値) スキャン機能設定参照、「LIGHT」、「MUTE」の3種類から機能キーとして1つ選択することができます。

SCAN(初期値)	スクランキーに設定します。
LIGHT	ディスプレイ照明キーに設定します。
MUTE	ワンタッチミュートキーに設定します。

呼び出しを受けたとき

個別通信で呼び出しを受けると、電子音(着信ベル)やLEDインジケータの点滅 (PRV: 不在着信機能が動作) により呼び出しがあったことを知らせます。

補足 個別通信によるLEDインジケータの表示は、「各部の名前と機能の④LEDインジケータ」を参照してください。

特定の相手から呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出しされた相手局のIDが表示され、スピーカーから電子音が一回鳴り、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、待ち受け時は点滅します。

個別呼び出しで呼ばれた場合:

呼び出した相手局のIDが点滅表示され、LEDインジケータが水色に点灯したままになります(不在着信機能)。

応答する場合:

PTT(通話)スイッチを押すと相手を選択します。

不在着信状態をキャンセルする場合:

任意のキーを短押しします。

補足 スキャン機能動作中「F13:SC-RX」が「ON」の場合は、不在着信機能は動作しません。

スキャン機能の設定と使用方法 (F12.SCANM, F13.SC-RX)

現在の通話チャンネルと事前に設定したスキャンチャンネルを自動的に切り替えモニターしながら待ち受けできます。スキャンチャンネルの初期値はコールチャンネル(CH15)が登録されています。

OFF(初期値)	スキャン機能をOFFにします。
ON	スキャン機能をONにします。

補足 プログラマブルキーが「MUTE」または「LIGHT」の機能に設定されている場合は、「F11.P-KEY」を「SCAN」に設定してください。

スキャンチャンネルの登録

スキャンチャンネルの登録は2種類の方法があります。設定モードで事前に登録する方法、または運用中にスキャンしたいチャンネルをショートカットキーで登録する方法があります。

設定モードで事前に登録する方法

CH01 ← CH15(初期値) ← CH02 ← S01 ← ... ← S15
スクリーン上に表示されたチャンネルに「0」が点灯し登録されます。再度押すと「0」が消灯し登録を解除します。

ショートカットキーで登録する方法

- チャンネル設定の画面を表示します。
- [▲]または[▼]キーでスクリーンに表示されたチャンネルに合わせます。
- [プログラマブル]キーを長押しします。
○「0」が点灯しスキャンチャンネルが登録されます。
再度押すと「0」が点灯し登録を解除します。

注意 緊急アラーム機能を設定している場合は、「ショートカットキーで登録する方法」では登録できません。緊急アラーム動作が優先されますので、設定モードで登録してください。

スキャン再開の設定

着信後、スキャンを再開させるかを設定します。

ON(初期値)	通話終了後「0」が点滅し、自動(約5秒)でスキャンが再開します。
OFF	着信後、スキャンは終了し、着信したチャンネルでの受信動作に移行します。

スキャン機能を使用する

スキャンを開始する

[プログラマブル]キーを短押しします。
通話チャンネルと事前に登録したスキャンチャンネルをスキャンします。

注意 000以外のUCコードでスキャン中に、一致しないUCコードの局が通話チャンネルまたはスキャンチャンネルで交信が続いている間、LEDインジケータが緑色に点滅します。スキャンは停止しません。

スキャンを終了する

スキャン中に[プログラマブル]キーを短押しします。

各種設定値を初期値に戻す (F99.RESET)

各種設定を初期値(ご購入時の状態)に戻します。

OFF(初期値)	設定リセットを中止します。
ON	設定リセットを開始します。

ONに設定した場合は:

- 「RECALL」が表示されます。
- [MODE]キーを短押しします。
「SUCCEEDED」が一瞬表示されリセットされます。
- 電源を切ります。

定格

受信電波周波数: デジタル簡易無線登録局(6.25kHz間隔、全97波)
陸上波: 35.103125 ~ 35.110000MHz (12波)
35.120000 ~ 35.163125MHz (70波)
上空波: 35.110625 ~ 35.119375MHz (15波)

変調方式: 4種FSK
通信方式: 単信(フルドブ)方式
送信出力: 1W/0.5W/0.2W(+20%、-50%以内)
低周波出力: NT: 500mW以上 (10%定時)
電池持続時間: BITX(構成) スーパーセーブ機能ON時: 約13時間
スーパーセーブ機能OFF時: 約10時間
(送信出力1W時、送信、受信、待ち受け90の割合で運用時)

電源電圧: DC 3.7V ± 10%
温度範囲: 温度 -10℃ ~ +60℃
湿度 95% (35℃)
本体寸法: 55mm(幅) × 91mm(高) × 27mm(奥行)(突起物を含みます)
本体重量: 約 199g (BITX、ヘルムクラブ、MC/SP端子キャップを含む)

○ 定格を予告なく変更することがあります。
○ RoHS 指令準拠

音声圧縮(符号化)方式について

本機は、米国 DVS 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用し、AMBE+2™ に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.
U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

オプション一覧表

品名	型番
ベルクロバッグ (構成品と同等)	CLP-25
リチウムイオン電池バック (構成品と同等)	BITX
充電用 ACアダプター (構成品と同等)	PS000042A11
急速充電器 (ACアダプターは PS000042A11 を使用します)	CD-66
6 連型充電器	VAC-6066
小型スピーカーマイク	MH-90A4B*
防塵型スピーカーマイク	MH-66F4B*
イヤーピースマイク	MH-89A4B*
タイマンアダプター	MH-62A4B*
イヤホンアダプター	CT-101*

※: わじ込み式の防水コネクタを使用しているため接続をするときは、十分に締めこんでください。
締め込みが不十分な場合、接続不良を起こし通話できないことがあります。
カタログ及びホームページURL: <http://standard.radio.jp> を参照してください。

防水性について

本機は、IEC国際規格 IP67 (防塵等級6)、防水等級7)の防塵、防水性能を有しています。この防水性を永らく確保していたるために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- 表面の電池フタを確実にロック